

谷山地区連続立体交差事業

(JR 指宿枕崎線連続立体交差事業 (谷山駅付近))

事業記録誌

令和2年3月



ごあいさつ

鹿児島市長

森 博幸

本市の副都心であります谷山地区において、地域の分断や踏切による交通渋滞及び事故の発生等といった地域課題の解消に向け、20年以上の歳月をかけ取り組んできた JR 指宿枕崎線の高架化など一連の整備が完了いたしましたことは、誠に喜ばしい限りであります。事業の実施にあたり、ご理解とご協力を賜りました地域の皆様や工事関係者の皆様、並びに国や市議会をはじめとする関係の方々に深く感謝を申し上げます。

谷山地区連続立体交差事業の事業化までには長い道のりがございました。国土交通省をはじめ多くの関係者の皆様のご支援・ご協力により、それまで都道府県等に限定されていた事業施行者について、平成 16 年度に県庁所在都市等による事業の代行が追加され、17 年度に中核市として全国で初めて、新規着工準備箇所の補助採択をいただきました。その後、19 年度に事業認可を受け、20 年 10 月に工事着工、約 7 年半の工事を経て 28 年 3 月に無事に高架開業を迎えることができました。

谷山地区のシンボルとして装いを新たにした谷山駅、慈眼寺駅については、バリアフリー対応や地域の風土に溶け込む駅舎と駅前広場を整備したほか、高架化によって新たに生まれた高架下等には、駐輪場や遊歩道、自転車道等も完成したところでございます。

今回の整備により、地域の一体化が図られ、踏切による交通渋滞や事故も解消されたほか、周辺における土地区画整理事業との相乗効果により、人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりが一層推進され、地域の活性化につながっていくものと確信しております。

今後とも、ハード・ソフト両面から各種施策を展開し、谷山地区はもとより、本市全体の浮揚発展に向け取り組んでまいりますので、皆様方のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、事業記録誌刊行に際してのご挨拶とさせていただきます。

令和 2 年 3 月



ごあいさつ

九州旅客鉄道株式会社
代表取締役社長執行役員

青柳 俊彦

谷山地区連続立体交差事業が、平成 19 年に事業認可されて以来、約 12 年に亘って事業を実施し、このたび無事に完成しました。

開業に至るまでの間、大変ご尽力頂きました鹿児島市様をはじめ、地域の皆様、工事関係の皆様に対しまして心より感謝申し上げます。

さて、今回の一連の事業によって約 2.7km が高架化され 15 箇所の踏切が廃止されました。鹿児島の副都心とも呼べるここ谷山地区の利便性はもとより踏切の廃止による地域分断の解消、交通渋滞解消、そして地域の一体化など今回の高架開業が鹿児島市全体のますますの発展に寄与するものであると私共も確信しているところでございます。

ここで新しく完成しました 2 つの駅舎についてご紹介させて頂きたいと思えます。

まず谷山駅ですが、1930 年に当時の鉄道省が西鹿児島～五位野間を開業させました際に誕生した駅であります。その後 2 代目駅舎が 1985 年に完成し、今回新しく完成した駅舎で 3 代目ということになります。この新駅舎は、ホームを覆う大きな屋根とともにガラス張りの防風スクリーンによって明るい空間を演出しております。まさに鹿児島市の副都心である谷山地区のシンボルとしてふさわしい駅舎となっております。

慈眼寺駅は 1988 年に開業した比較的新しい駅ですが、田園風景が目立った駅周辺も開発が進み年々ご利用が増えてきております。新駅舎は、シルバーを基調とした近代的な外観と谷山駅と同じくガラス張りの防風スクリーンを設置することでホーム全体が明るい空間となるように設計しております。

両駅ともこれまでの駅に比べ快適にご利用頂けるように様々な設備を設けております。また、谷山駅では地域の皆さまと一体となった取組みとして、列車到着時にシンガーソングライターである吉田拓郎氏の「夏休み」のメロディーを流しています。地域のシンボルとして今回完成しました 2 つの駅舎を、末永くご愛顧頂ければと考えております。

今後とも、安全で快適な鉄道サービスの向上を通して地域の皆様とともに駅を中心とした活気溢れる街づくりに取り組んでいく所存でございますのでより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。事業記録誌刊行に際してのご挨拶とさせていただきます。

令和 2 年 3 月

事業実施前（平成19年撮影）



事業実施後（令和元年撮影）





区間 約2.7 km



永田川付近から谷山電停方面を望む



永田川付近から谷山駅方面を望む



谷山駅付近から谷山電停方面を望む



谷山中学校付近から谷山駅方面を望む



谷山中学校付近から慈眼寺駅方面を望む



慈眼寺駅付近から谷山駅方面を望む



谷山駅前広場



慈眼寺駅前広場



谷山駅外観（事業前）



谷山駅外観（事業後）



谷山駅コンコース（事業後）



谷山駅ホーム（事業後）



慈眼寺駅外観（事業前）



慈眼寺駅外観（事業後）



慈眼寺駅コンコース（事業後）



慈眼寺駅ホーム（事業後）



中村踏切（事業前）



旧中村踏切（事業後）



試験場踏切（事業前）



旧試験場踏切（事業後）



高架下駐輪場



高架下駐車場



遊歩道・自転車道



谷山駅自由通路

谷山地区連続立体交差事業 事業記録誌

目次

第1章 事業地域の概要	
1-1 鹿児島市の概要	2
1-2 社会条件	3
1-3 谷山地区の概要	5
1-4 かごしま都市マスタープラン	6
第2章 事業の経緯	18
第3章 事業の背景と必要性	
3-1 事業化に至る背景	26
3-2 事業の必要性	30
第4章 事業実施に向けた取り組み	
4-1 施行者拡大	36
4-2 高架構造物デザイン	38
4-3 駅舎デザイン	40
4-4 谷山駅周辺の整備	50
第5章 事業の内容	
5-1 事業概要	54
5-2 都市計画決定及び事業認可	57
第6章 高架化工事の概要	
6-1 事業の調査	64
6-2 線形計画	67
6-3 設計条件	68
6-4 主要工事	72
6-5 工事費及び工事工程	73
6-6 各年度の主な工事内容	74
第7章 都市側施工	
7-1 交差道路	86
7-2 側道	88

第 8 章	鉄道側施工	
8-1	事業周辺地域の地形及び地質	92
8-2	施工概要	97
8-3	施工順序	105
8-4	土木工事の概要	107
8-5	軌道工事の概要	111
8-6	建築工事の概要	113
8-7	機械工事の概要	117
8-8	電気工事の概要	119
第 9 章	事後評価	
9-1	社会資本総合整備計画の評価	122
9-2	事業評価監視委員会	123
9-3	事後評価シート	124
9-4	定量的指標の達成状況	126
9-5	定量的指標以外の事業効果の発現状況	132
第 10 章	高架下利用	
10-1	高架下利用計画	142
10-2	高架下等整備	148
第 11 章	谷山地区の関連事業	
11-1	谷山駅周辺地区土地区画整理事業の経緯・概要	152
11-2	谷山第一地区土地区画整理事業の経緯・概要	154
11-3	谷山第二地区土地区画整理事業の経緯・概要	156
11-4	谷山第三地区土地区画整理事業の経緯・概要	158
11-5	都市基盤河川木之下川改修事業の経緯・概要	160
11-6	谷山支所前通線（連立関連区間）整備事業の経緯・概要	162
11-7	谷山地区アクセス環境整備事業の経緯・概要	164
第 12 章	その他	
12-1	谷山地区連続立体交差事業 起工式	168
12-2	こどもまちづくり探検隊	170
12-3	慈眼寺駅・谷山駅高架開業記念レールウォーク	172
12-4	谷山地区連続立体交差事業高架開業及び 「谷山駅・慈眼寺駅」駅舎落成記念式典	174
第 13 章	資料編	
13-1	都市計画法第 23 条第 6 項の協議に係る覚書	178
13-2	基本協定書（当初）	185
13-3	基本協定書（変更第 1 回）	193
13-4	基本協定書（変更第 2 回）	198
13-5	高架下利用協定書	203
13-6	高架下利用に係る覚書	210